

リモコンキー&電子キー マニュアル Vol.2 について

《重要》

本書は、自動車整備士を対象としています。そのため、作業に必要となる基本的な事項を省略している場合があります（例：IG OFF 時に外部診断機を接続する等）。

また、本書を基にした作業により自動車等に損傷・損害等が生じても、賠償等には一切応じることができません。以上のことをご理解の上、本書をご活用下さい。

- 1** 本書は、平成 20 年から 30 年頃迄に製作された乗用車のリモコンキー（トランスミッタ）と電子キーの「電池形式」、「電池交換方法」及び「登録方法」を収録したものです。

①イモビライザシステム装着車の場合、本書により新しいキーのリモコン機能の登録はできても、そのキーでエンジンを始動することはできません。基本的に、同システムの登録は自動車メーカーが指定する外部診断機（スキャンツール）を使用して行います。

- 2** ハイエース等の一部の貨物用自動車も収録しています。
- 3** 各メーカーにより、キー及びシステムの呼び方が異なるため、本書では以下のように呼び方を統一しています。
- **リモコンキー**…スイッチの操作によりドアの施錠・解錠を行うワイヤレス・リモート・コントロール・システム（リモコンキー）のトランスミッタを指します。
 - **電子キー**…スイッチを直接操作することなくドアの施錠・解錠を行うことのできるシステムのキーを指します。車両が発信する信号により検知エリアが形成され、当該エリア内に電子キー携帯者が進入すると、車両と電子キーとの双方向通信により適合の可否が行われます。その結果、車両と電子キーが適合した場合、ドア・アウト・ハンドルのスイッチを押す等の操作によりドアの施錠・解錠を行うことができ、結果的にキーを手にとることなく乗車することができます。

トヨタ

日産

ホンダ

三菱

マツダ

スバル

ダイハツ

スズキ

《参考》

- リモコンキーと電子キーの名称はメーカーにより異なります。下表はメーカー別の主なシステム名称及びキーの正式名称です。

《リモコンキー》

メーカー	システム名	キーの名称
トヨタ	・ワイヤレス（ドアロック）リモートコントロールシステム ・ワイヤレスドアロックコントロールシステム（スマートエントリーなし）	トランスミッター
日産	リモートコントロールエントリーシステム	リモコンキー
ホンダ	キーレスエントリーシステム	トランスミッタ
三菱	キーレスエントリーシステム	トランスミッター
マツダ	キーレスエントリーシステム	トランスミッタ
富士重工	キーレスアクセス&プッシュスタート	リモコンキー
スズキ	キーレスエントリーシステム	（キーレス）トランスミッタ
ダイハツ	キーレスエントリーシステム	トランスミッター

《電子キー》

メーカー	システム名	キーの名称
トヨタ	・スマートエントリー&スタートシステム ・キーフリーシステム ・ワイヤレスドアロックコントロールシステム（スマートエントリーあり）	・電子キー ・カードキー ・電子カードキー
日産	インテリジェントキーシステム	インテリジェントキー
ホンダ	ホンダスマートキーシステム	・ホンダスマートキー（一部ホンダスマートカードキー） ・カードキー
三菱	キーレスオペレーションシステム（KOS）	キーレスオペレーションキー
マツダ	・アドバンストキーレスシステム ・アドバンストキーレス アンドスタートシステム ・アドバンストキーレスエントリアンド （プッシュボタン）スタートシステム	・カードキー ・アドバンストキー ・トランスミッタ
富士重工	キーレスアクセス&プッシュスタート	アクセスキー
スズキ	キーレス（プッシュ）スタートシステム	・携帯リモコンキー ・キーレススタートリモコンキー
ダイハツ	キーフリーシステム	・電子キー ・電子カードキー

トヨタ

1 電池形式／交換／登録方法 一覧	ツ	40P
..... 3P	テ	42P
2 バッテリー交換方法	ト	44P
ア	ナ	45P
イ	3 登録方法	
ウ	A	46P
エ	B	49P
オ	C	50P
カ	D	51P
キ	E	53P
ク	F	54P
ケ	4 スマートエントリーキャンセル	
コ	方法（略称：スマキャン）	
サ	①	56P
シ	②	57P
ス	③	58P
セ	④	60P
ソ	⑤	62P
タ	⑥	63P
チ		

1 電池形式／交換／登録方法 一覧（区分等は平成 30 年 7 月現在）

※「-」は設定無し・不明、「数」は登録可能な数。

区分	リモコンキー				電子キー		
	形式	交換	登録	数	形式	交換	スマキャン
86（ZN6・GRMN86系）							
～29.10	※要現車確認	Ⓚ 23P	-		CR1632	Ⓜ 15P	外部診断機で行う
29.10～					CR2032	Ⓝ 29P	
C-HR（NGX1・5系）/C-HR ハイブリッド（ZYX1系）							
		-			CR2032	Ⓝ 29P	④ 60P
FJクルーザー（J15系）							
	CR2016	Ⓝ 36P	Ⓚ 49P	4		-	

※「-」は設定無し・不明、「数」は登録可能な数。

区分	リモコンキー				電子キー		
	形式	交換	登録	数	形式	交換	スマキャン
アイシス (M10・11・15系)							
～ 21.9	CR2016	㊦ 18P	A 46P	4	CR2032 キー別体	㊦ 20P	1 56P
21.9～					CR1632 キー一体	㊦ 15P	2 57P
アクア (P10系)							
	※要現車確認	㊦ 21P	B 49P	4	CR1632	㊦ 15P	3 58P
アベンシスワゴン (ZRT27系)							
		-			CR1632	㊦ 15P	3 58P
アリオン/プレミオ (T26系)							
～ 26.9	CR2016	㊦ 23P	B 49P	6	CR1632	㊦ 15P	5 62P
26.9～		㊦ 25P					
アルファード/ヴェルファイア (H2系)							
		-			CR1632	㊦ 15P	2 57P
アルファード/ヴェルファイア (H3系)							
パワーバック ドア有		-			CR2032	㊦ 9P	4 60P
パワーバック ドア無			㊦ 11P				
アルファードハイブリッド/ヴェルファイアハイブリッド (H2系)							
		-			CR1632	㊦ 15P	3 58P
アルファードハイブリッド/ヴェルファイアハイブリッド (H3系)							
パワーバック ドア有		-			CR2032	㊦ 9P	4 60P
パワーバック ドア無			㊦ 11P				
イスト (P11系)							
	CR2016	㊦ 27P	B 49P	4	CR1632	㊦ 15P	5 62P

2

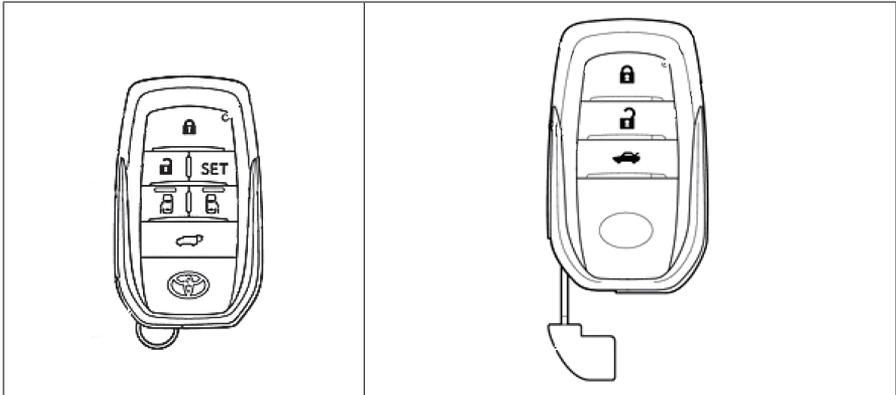
バッテリー交換方法

ア の交換方法の車種

- アルファード（H3系） パワーバックドア有
- アルファードハイブリッド（H3系） パワーバックドア有
- ヴェルファイア（H3系） パワーバックドア有
- ヴェルファイアハイブリッド（H3系） パワーバックドア有
- ミライ（JPD1系）

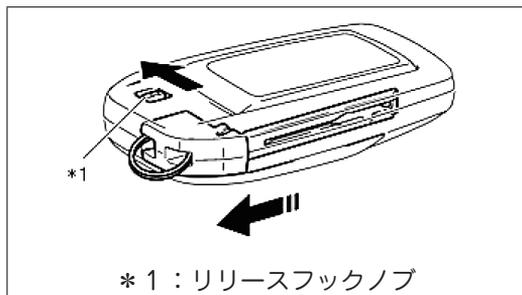
ア の交換方法

《電子キーの形状例》



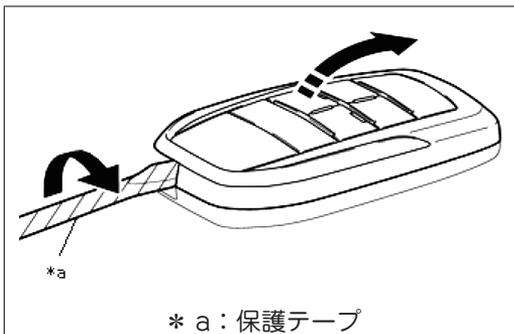
《交換》

- ①図のように、リリースフックノブをスライドさせ、カットキーを取り外す。

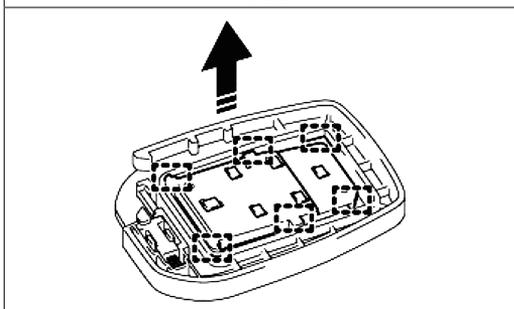


- ②保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、図のように、トランスミッタハウジングケースを取り外す。

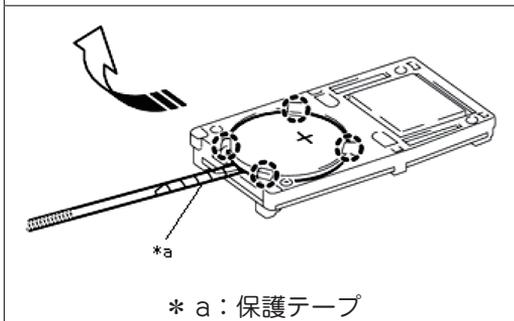
※トランスミッタハウジングケースを無理にこじらない。



- ③図のように、ガイドをはずし、トランスミッタバッテリーホルダを取り外す。



- ④保護テープを巻いたマイナス薄刃ドライバーを使用して、図のように、ツメのかん合を外し、トランスミッタバッテリー（リチウム電池）を取り外す。



※ターミナル部を指で押さえない。

※トランスミッタバッテリー（リチウム電池）を無理にこじて外すとターミナル部が変形する。

3

登録方法

A の登録方法の車種

- アイシス (M10・11・15 系)
- ベルタ (P9 系)

A の登録方法

① 車両を以下の状態にする。

- (1) 運転席ドアガラスを全開状態にする。
- (2) 運転席ドアのみを開けておく。
- (3) 運転席ドアを UNLOCK 状態にする。
- (4) イグニッションスイッチロックシリンダにキープレートが差し込まれていない。



② 上記作業終了後、以下の作業を行う。

- (1) キープレートをイグニッションスイッチロックシリンダに差し込んでから抜き取る作業を 2 度繰り返す。
※ 5 秒以内に行う。
- (2) 運転席ドアの全閉→開を 2 回行った後、キープレートをイグニッションスイッチロックシリンダに差し込んで抜き取る。
※ 40 秒以内に行う。
- (3) 運転席ドアの全閉→開を 2 回行い、キープレートをイグニッションスイッチロックシリンダに差し込み、全てのドアを閉める。
※ 40 秒以内に行う。
- (4) イグニッションスイッチの ON ↔ LOCK を以下に示す各モードの回数に合わせ約 1 秒間隔で行い、モードを選択したのちキープレートを抜き取る。
※ 40 秒以内に行う。

追加モード

- ON ↔ LOCK を 1 回行う。

書き換えモード

- ON ↔ LOCK を 2 回行う。

確認モード

- ON ↔ LOCK を 3 回行う。

禁止モード

- ON ↔ LOCK を 5 回行う。

- (5) モード選択後、5秒以内にドアコントロールリレーはドアロックの LOCK ↔ UNLOCK 作動を自動的にを行い、選択された各モードを以下のような各応答パターンで作業者に知らせる。

※確認モードで登録コード0の場合は、自動的に5回行う。

※イグニッションスイッチの ON ↔ LOCK が4回または6回以上の場合は無応答で終了する。

追加モード

- ロック→アンロックが1秒間隔で1回行われる。

確認モード

- ロック→アンロックが2秒間隔で登録コード数分行われる。

書き換えモード

- ロック→アンロックが1秒間隔で2回行われる。

禁止モード

- ロック→アンロックが1秒間隔で5回行われる。



③ エレクトリカルキートランスミッタの登録。

- (1) 追加モード及び書き換えモードの選択をした場合は、エレクトリカルキートランスミッタのロックスイッチ及びアンロックスイッチを同時に押した後、再度エレクトリカルキートランスミッタのどちらかのスイッチを押す。

※スイッチ操作1回につき1秒以上押し（※ベルタでは1.5秒以下）、かつ1回目を押してから3秒以内に2回目を押す。

※登録モードの応答からエレクトリカルキートランスミッタの登録までを40秒以内に行う。

- (2) エレクトリカルキートランスミッタのスイッチをOFF後、エレクトリカルキートランスミッタの登録作業が正常に完了した場合は、5秒以内に LOCK ↔ UNLOCK 作動が自動的に1回行われるが、2回行われた場合は登録が完了していないので、エレクトリカルキートランスミッタの登録を再度行う。

※イグニッションスイッチをOFF後、LOCK ↔ UNLOCK 作動が自動的に行われるまでは、エレクトリカルキートランスミッタのスイッチ操作を行わない。ただし、5秒たっても LOCK ↔ UNLOCK 作動が行われない場合は、エレクトリカルキートランスミッタの登録を再度行う。

- (3) 続けて登録を行う場合は、40秒以内にエレクトリカルキートランスミッタの登録を行う。



**④登録モードの終了。(1つでも成立時)**

- (1) 登録モード入力待ちが40秒以上経過。
- (2) いずれかのドアを開ける。(※ベルタは、運転席ドア)
- (3) キーをイグニッションスイッチロックシリンダに差し込む。
- (4) 1回の登録で4種類識別コードを登録した。

**⑤登録作業終了後、以下の作業を行う。**

- (1) ワイヤレスドアロックコントロールシステム (スマートドアロック付き車) 車上点検
- (2) スマートドアロックシステム 車上点検
※ワイヤレスもスマートも作動しない、またはスマートだけ作動しない場合は再度、識別コードの登録をやり直す。